

# 平成28年8月に発生した台風第10号による 大規模な浸水被害における消防機関の活動

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室／広域応援室／応急対策室

## はじめに

台風第10号の影響により、岩手県宮古市、久慈市で1時間に80ミリの猛烈な雨となったほか、8月28日0時から31日6時までに北海道士幌町で平年の8月1か月に降る雨量を超える329ミリを観測し記録的な大雨となるなど、東北地方から北海道地方を中心に西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となりました。

北海道及び岩手県などで河川のはん濫が発生し、死者22人、行方不明者5人の人的被害が生じたほか、多数の住家被害が発生しました。人的・物的被害の状況は平成28年9月30日消防庁被害報第32報によると、死者22人、行方不明者5人、負傷者11人、住家被害5,389棟でした。

## 消防機関の活動

### (1) 広域航空消防応援

8月31日、岩手県知事から広域航空消防応援の要請を受けた消防庁長官からの出動要請により、秋田県、宮城県及び福島県の防災ヘリが久慈市及び岩泉町へ向け応援出動し2名を救助しました。

その後、同日11時30分をもって、当該出動については、緊急消防援助隊による出動に切り替えました。

### (2) 緊急消防援助隊

8月31日、岩手県知事から緊急消防援助隊の応援の要請を受けた消防庁長官からの出動の求めにより、東北地方の各県を中心とする

1都5県から緊急消防援助隊が岩手県へ向け出動しました。

岩手県内における緊急消防援助隊の活動概要は以下のとおりです。

#### ①活動期間

8月31日から9月9日まで(10日間)

#### ②活動規模

1都5県(青森県、秋田県、宮城県、福島県、東京都、神奈川県)

延べ825隊、3,238名

※延べ：各日毎の活動した隊数、隊員数を活動期間中(10日間)累計したものを。

#### ③救助者数

43名(航空部隊41名、陸上部隊3名)

※航空部隊の救助者数には、広域航空消防応援による活動時の救助者2名を含む。

※航空部隊と陸上部隊の連携活動時による救助者1名は重複。

#### ④主な活動

**A**陸上からの救助が難しい孤立地域の住民について、ヘリコプターのホイスト(吊上げ装置)等による上空からの救助活動を実施しました。

**I**河川の氾濫により流されてきた瓦礫や流木などが流れ込んだ家屋において、重機等による瓦礫や流木の排除を行いつつ、家屋内の検索救助活動を実施しました。

**U**情報収集活動中のヘリコプターから要救助者の存在の可能性が見込まれ、情報提供を受けた陸上部隊が検索した結果、要救助者を発見し、迅速な救助活動を実施しました。

**E**活動が必要とされる地域への進出に迂回が必要となり、到着に長時間を要することとなったため、自衛隊と消防のヘリコプターにより、活動隊員を空路搬送しました。

才道路の寸断等により、車両での接近が困難な地域への進出に際しては、消防車両を数キロ手前に止め、資機材を携行しながら徒歩で進行しました。

### (3) 県内応援消防本部等



検索救助活動（岩泉町）

北海道においては、北海道消防防災ヘリコプター及び札幌市消防局消防ヘリコプターが南富良野町での救助活動を実施しました。

岩手県においては、岩手県防災ヘリコプターが8月31日早朝に、上空からの被害調査を実施したほか、県内の複数の消防本部が岩泉町に応援出動し、救助活動等を実施しました。

### (4) 地元消防本部

北海道では、甚大な被害が発生した新得町、清水町、南富良野町等において、とちち広域消防局及び富良野広域連合消防本部が、それぞれ管轄する地域で災害発生後から、被災住民の救助や避難誘導等に従事しました。

岩手県では、甚大な被害が発生した久慈市、岩泉町及び宮古市において、久慈広域連合消防本部及び宮古地区広域行政組合消防本部が、それぞれ管轄する地域で災害発生後から、被災住民の救助や避難誘導等に従事しました。

### (5) 消防団

北海道及び岩手県の消防団は、台風上陸前から警戒活動、水害対応や住民の避難誘導等を実施するとともに、台風通過後においても、救助活動、安否確認や行方不明者の捜索など、地域の安全・安心を守るため、地域防災の要として多くの活動を実施しました。

北海道においては、8月29日から9月14

日までの間に延べ約500名（最大活動時は約300名（8月31日））が、岩手県においては、8月29日から9月16日までの間に延べ約2,700名（最大活動時は約750名（8月30日））が、それぞれ活動しました（9月29日現在。消防庁調べ）。主な活動内容は次のとおりです。  
ア台風の接近に備えて、河川流域や危険箇所等の警戒を実施しました。

イ河川の氾濫による家屋等への浸水を防ぐため、土嚢積み等を実施しました。また、消防ポンプ自動車等を使用し、住宅の敷地内に溜まった水の排水作業を実施しました。  
ウ避難勧告や避難指示が発令された地区の住民に対して、避難を促しました。

エ家屋等への浸水により取り残された住民等に対する救助活動（消防職員の補助を含む。）を実施しました。

北海道幕別町（救助人数：10名）

岩手県久慈市（6名）

岩手県岩泉町（6名）

オ地域の状況を詳細に把握している消防団により、速やかな安否確認を実施しました。  
カ河川に流された可能性のある行方不明者の捜索活動を実施しました。



救助活動  
（岩泉町消防団）



行方不明者の捜索  
（とちち広域消防事務組合管内消防団）

## おわりに

消防庁では、今回の活動で得られた教訓を活かし、災害に対して万全の態勢が取れるよう、全力を尽くしてまいります。